



・愛川町立愛川中原中学校
 ・愛川町角田210
 ・TEL (286) 2710
 ・発行責任者 中村 正
 ・編集責任者 波塚 浩司
 ・2016. 2. 19 (NO10)

《3月の行事予定》



- ・3月 8日 (火) 3年生を送る会
- ・3月 9日 (水) 3年球技大会
- ・3月15日 (火) 卒業証書授与式
- ・3月16日 (水) 2年進路講話会
- ・3月23日 (水) 2年球技大会
- ・3月24日 (木) 1年球技大会
- ・3月25日 (金) 修了式

「 来年度に向けて 」 教務主任 野口 博史

本年度、本校は創立30周年の記念の年でした。体育大会や文化発表会では生徒を中心として30周年を意識した取り組みがなされました。31年目となる来年度は今までの伝統を受け継ぎ、新たな一步を踏み出す愛川中原中学校にしたいと考えています。

現在、学校では平成28年度の教育課程の編成に向けて取り組みが行われています。教育課程とは、愛川中原中学校の学校教育目標「元気・根気・やる気・本気」を達成するために、来年度具体的にどのように取り組もうか、学校を取り巻く課題に対してどのような視点から改善していこうか、良いところをもっと伸ばしていくためにはどうすればよいか、といういわば学校の経営方針ともいえる大切なものです。

今年度から進めている教師の授業力向上も、生徒が確かな学力をしっかりと身につけるように、次年度もさらに研究を深めていこうと内容を検討しています。その中でも、より具体的な実践として、次の5つの事項を全職員、全授業で取り組むことが確認されました。

- ・自分の考えを発表する機会がある授業
- ・生徒の間で話し合う活動がある授業
- ・課題を立て自力で解決し発表する授業
- ・目標（めあて・ねらい）を最初に示す授業
- ・学習の振り返りを最後に行う授業



学校教育目標の充実に向けて、すでに準備が始まっています。

《町小中高等学校教員交流の感想》 高峰小学校 笠原宏太先生

小学校と比べて、授業のテンポが早く感じました。それだけにしっかりと小学校のうちにベースをつくっておかなければならないと感じました。国語の授業を拝見させていただいた際、時間や先生の指示できばきと動いている姿を見て、日頃から意識して学級経営がなされていると思いました。(途中略)

また、生徒が主体的に動く場面が多く、意欲も高かったです。どうしても小学校と比べてしまいますがその違いから学べることも多かったです。

《1年職業講話会 1/19》キャリア教育担当 内堀義弘

1月19日(火) 5・6時間目に本校体育館で第一学年の職業講話が行われ、講師として株式会社フジテレビ・コンテンツ事業局の田中良和さんが来校されました。講話の中では、放送業界に携わる人間として「業界人の掟」を大切に仕事を行っているなど、普段わたしたちが観ているテレビ業界の裏側をお話いただきました。生徒たちは、テレビ業界を体験するために番組制作の企画書作成を行い、自分自身で番組のジャンルやシナリオ・出演者のキャスティングなど考え、1から番組を作り上げる大変さや、実際のドラマになった企画書を見せていただき、生徒たちの興奮は高まりました。

私が職業講話を聞いて一番感じたことは、生徒たちに「自分らしさ」を大切し、新しいことに積極的に挑戦し自分自身を成長させていくことだと思います。これからの社会は、自分の意見を周りの人間と調整していくコミュニケーション能力が大切になっていきます。来年の職場体験も社会に出ている先輩方から多くのものを吸収してほしいと思います。



《2年職場体験 1/20～1/22》キャリア教育担当 宮里拓也

今年も2年生の職場体験が3日間にわたって行われました。寒さが厳しい3日間でしたが、その寒さに負けないくらい熱い思いを持って生徒一人一人が取り組んでいたのではないかと思います。職場選択の段階から生徒全員の職場に込める熱い思いがとても伝わる志望理由をたくさん書いてくれました。その思いをできる限りくみとってあげられるような職場編成にしましたので、当日は全員がとても熱心に取り組む姿が見受けられました。体験後のアンケートでも「仕事の厳しさが身にしみてわかりました」や「3日間を通して人と積極的に話せるようになりました」などたくさんのご感想を学べた感想が多くありました。この3日間の経験で感じたこと、学んだことをこれからの将来設計にぜひ活かして頂きたいと思います。最後になりましたが、職場体験を行うにあたりまして、事業所の方々、地域の方々、保護者の方々にご理解、ご協力いただきまして本当にありがとうございました。

